

小児科



子どもの喘鳴、長びく咳

御定年の小野正恵先生の後任として着任しました高瀬と申します。前職は日本医科大学多摩永山病院の小児科部長で、日本小児呼吸器学会の運営委員長を務める呼吸器の専門医です。どうぞよろしくお願いいたします。

小児科を受診される原因として最も多いのが呼吸器系の感染症やアレルギーによる咳や喘鳴です。喘鳴とは、呼吸に伴いゼーゼー、ヒューヒューと苦しそうな雑音を生じる状態です。気道のどこかに問題があることを反映していますが、特に苦しがないこともあります。それでも、経皮酸素飽和度モニターを付けてみると、実際には血液の酸素濃度が低下していることも少なくありません。

気管支喘息は喘鳴を反復する代表的な慢性疾患ですが、乳幼児では喘息ではないのに風邪をひくたびに喘鳴を繰り返すことがよくあります。5歳までに一度でも喘鳴を経験したお子さんは、30～50%と言われています。中でも、生後6か月頃から2歳の間にほぼ100%のお子さんが一度は罹患する「RSウイルス感染症」は、多くは咳のひどい風邪として自然に軽快しますが、20%程度のお子さんで喘鳴、呼吸困難を生じる「急性細気管支炎」

に進展します。これは、気道の炎症のために気管支の粘膜が腫れて内腔が狭くなり、粘りが多い痰によって細い気管支が閉塞してしまうものです。現在、わが国

で2歳以下のお子さんが入院される原因として最も多いのがこの病気です。気管支喘息には有効な気管支拡張薬や副腎皮質ステロイド薬の効果がほとんどありません。

RSウイルス感染症で急性細気管支炎

になった場合、その後も風邪を引くたびに喘鳴を繰り返すために誤って「喘息」と診断されている方が多くみられます。本当の「喘息」は、ダニやハウスダストに対するアレルギーを基盤とした慢性気管支炎で、気道の過敏性が高まり、さまざまな刺激に対して気管支平滑筋の収縮から喘鳴、呼吸困難の発作をくりかえします。一方、喘息もどきの反復性喘鳴は男児に多く、小学校に上がる頃には自然に改善してしまいます。「喘息」と診断されて治療に通っていたが次第によくなった方の多くはこのようなものと考えられます。喘鳴や長びく咳で悩まされているお子さんでは、実は他にもさまざまな病態が隠れている場合があります。「気管支喘息」の治療も近年は格段に進歩しており、こちらも適切に治療を続ければ寛解していきますが、過剰な診断、治療は不要な心配を生じ、医療費の無駄使いにもつながります。

喘鳴や長びく咳でお悩みの方は、ぜひ一度当科を受診されるようお勧めします。



小児科 部長
高瀬 眞人



脳神経外科



脳神経外科部長に就任して

今年4月よりの脳神経外科部長に就任致しました岡本幸一郎と申します。

何卒宜しくお願い申し上げます。

東京通信病院のスローガンに「救急難民を作らない」急性期医療機関、「がん難民を作らない」総合がん診療医療機関を目指し、社会に貢献できることとあります。今後もこの方針を継続し、患者さんの目線でより良い治療、さらなる「満足度の向上」にも力を注いでいます。World's Best Hospitals 2021に3年連続でランキングに選出されましたので、その名に恥じないように努めて参ります。

診療の特徴

当科においては、頭部外傷、脳血管障害など緊急性の高い疾患の診断・治療が主になります。ちょっとしたはずみで転んでしまい、頭を打ったり、急に手足の力が抜けたり、呂律が悪くなったりなど、大変御心配なことだと思います。そのような場合には、できるだけ早めに脳神経外科を受診して頂くことがよろしいかと思っております。

脳内出血に対しては、緊急性が高い場合には通常の通りに手術を実施しておりますが、様々なお加減や合併症により負担の少ない頭の中でも使用

できる内視鏡で血の固まりを吸引してしまう治療なども取り入れております。

また脳腫瘍は、手術による細胞の診断と摘出、その後の放射線治療や化学治療、その他の多くの分野の担当者と共に治療を進めることとなります。

脳から発生する腫瘍（おでき）や転移してきた腫瘍や悪性リンパ腫という血液疾患の一部などの大変多くの種類の腫瘍（おでき）が知られております。

少し詳しくなりますが、ナビゲーションという画像の支援や、手術中の造影の検査や電気生理学的な脊髄誘発電位の監視なども積極的に進め、医療の安全性を確保しております。

さらに脊椎・脊髄疾患等、変性性脊椎症や椎間板ヘルニア等の診断・治療も積極的に進めております。

今後の展望

日本郵政グループの職域病院と地域の二次救急およびがん診療病院の役割上、多彩な疾患に対応することが求められております。脳卒中や頭部外傷の急性期治療、また、脳腫瘍に対する集学的治療、社会の高齢化にしたがい脊椎・脊髄疾患への対応なども継続して必要となっています。

頭痛、手足のマヒやしびれ、ことばの障害、見え方の異常やめまいなど、神経機能の障害が疑われた場合、またご心配になられたときなど、どうか遠慮なく当科を受診してください。

多職種のスタッフの方々と力を併せて日々の診療に邁進していく所存ですので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



脳神経外科 部長
岡本 幸一郎



2021年4月から歯科口腔外科に着任いたしました。お口の健康から、皆様の健康促進に貢献していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

1) お口の状態とからだの健康

からだの健康を保つには、おいしく食事をとることがとても大切です。しっかりかむことで唾液の分泌が促され、胃や腸での消化吸収もよくなります。また、おいしく食事をとることで満足感がうまれ、心の健康維持にも役立ちます。「8020運動」というのは、「80歳になっても自分の歯を20本以上残そう」という運動ですが、20本程度の歯が残っていれば、ほとんどの食べ物をかむことができ、味を楽しみながら食べることができます。歯を失う2大疾患は虫歯と歯周病ですので、必要な治療を行い、口の中の衛生状態を保って虫歯や歯周病を予防していくことは、からだの健康維持にも繋がります。

2) 虫歯と歯周病

虫歯は歯が溶ける病気、歯周病は歯茎が弱くなって歯がグラグラになる病気ですが、その影響は口の中だけにとどまりません。例えば、歯周病は糖尿病の症状を悪化させることが知られていますが、一方で、糖尿病の方では歯周病が悪化しやすく、また歯周病治療により糖尿病の程度が改善される傾向も示されています。また、歯周病菌は、動脈硬化を誘導するような物質も出しています。それにより全身

の血管が脆くなったり細くなったりするため、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞などになります。その他にも口の中の細菌は、早産、関節リウマチや誤嚥性肺炎など、様々な疾患との関連が報告されています。



歯科口腔外科 部長
藤原 夕子

3) かむことの大切さ

歯が多く残っている人や、歯が少なくても入れ歯等を入れている人では、歯が少ない人や入れ歯を入れていない人と比較して、認知症の発症や転倒する危険性が低いということが分かってきています。元気でいるためには、できるだけ自分の歯を残すこと、あるいは、もし歯を失ったとしても、被せ物や入れ歯などでしっかり機能を回復することも大切です。

4) 歯科受診について

このように、お口の中の状態を整え、かむことを大切にしていくことは、からだの健康維持に役立ちます。日頃から歯磨きに気をつけたり、定期的に歯科医院で検診を受け、必要な治療を受けたりすることも有用になるでしょう。一方で、からだの状態や使っているお薬の種類、あるいはこれまでにかかった病気によっては、歯科治療時に注意が必要になってくることもあります。ご自身の病気や処方されている薬については、歯科医院でもお伝えいただくとより安心です。東京通信病院歯科口腔外科でも、患者さんが安心して歯科を受診できるよう、患者さんのからだの状態に十分に留意し、適切な歯科治療を行うよう心がけています。一般的な歯科治療や定期検診に加えて、口腔がん検診、全身麻酔での手術や癌治療に関連した口腔ケア、インプラント治療なども行っています。どうぞお気軽にご相談ください。



腎臓内科



慢性腎臓病について

はじめに

初めまして。このたび4月より腎臓内科医長を拝命しました川田真宏と申します。昨年まで虎の門病院腎臓内科へ在籍し、多くの患者さんの診療を通じ、腎臓病、透析治療、膠原病、老年医学（フレイル/サルコペニア、ポリファーマシー）など多種多様な疾患に携わらせて頂きました。腎臓病にとって加齢というのは1つのリスクファクターとして考えられており、年齢が高くなるほど慢性腎臓病の患者数が増加することが知られています。しかし、必ずしも加齢だけが原因とは限りません。糖尿病や肥満、高血圧などの生活習慣病、膠原病/自己免疫性疾患、泌尿器疾患、肝臓疾患、血液疾患、炎症性腸疾患、遺伝性疾患など多くの疾患に関与しており、夏場は熱中症や脱水症により腎機能が悪化してしまう患者さんも多くみられます。最近では、がん治療の新たな選択肢としても注目を浴びている分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬による腎障害も報告されています。

このように多様性に富む腎臓病ではありますが、今回はご挨拶も兼ね、当腎臓内科で扱う疾患の中心である慢性腎臓病についてお話をさせて頂きたいと思います。

腎臓の働き

日本には「肝心/肝腎かなめ」という言葉があります。肝・心・腎も人体にとって重要であることに起因した言葉です。腎臓は、尿を作ることで体内に溜まった老廃物や尿毒素を排泄し、体内を清潔に保つだけでなく、血圧のコントロールや体内の水分量・塩分量の調整、赤血球を作る働きを助ける、骨を丈夫に保つといった多くの働きをしています。私たちは特に気にすることなく毎日、食事をしたり、運動をして汗をかいたり、飲酒をしたりして生活をおくっていますが、体内環境はその都度、複雑に変化しています。腎臓は、その体内環境をなるべくベストな状態に維持してくれている重要な臓器なのです。

慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease : CKD) とは

最近では雑誌や新聞、TVなど多くのメディアで取り上げられる機会も増え、その名を耳にされる頻度も増えてきているのではないのでしょうか。慢性腎臓病(以下、CKD)とは、1つの病名ではなく、腎臓の機能が徐々に低下してく様々な腎臓病の総称です。尿蛋白などの腎臓の障害、もしくは糸球体ろ過量（GFR）が60ml/分/1.73m²未満の腎機能低下が3か月以上持続すること、と定義されています。日本では、成人の8人に1人にその疑いがあると言われ、新たな国民病として国などでも様々な対策が講じられています。CKDの発症や進行には、糖尿病や高血圧など生活習慣病や喫煙や飲酒、不規則な食生活などが関係しています。腎臓病がやっかいなのは、自覚症状に乏しく、多くの方が気づかないまま進行してしまい、一旦機能が低下してしまうと戻りにくいことです。対応が遅れてしまうと最終的には透析治療が必要になります。

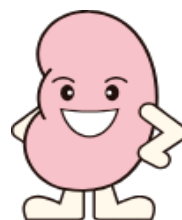


腎臓内科 医長
川田 真宏

患者さんへ

慢性腎臓病の予防や進行抑制のためには早期からの対応が重要です。腎臓は普段の生活と密接に関連しており、腎臓の負担を軽くするためにも生活習慣や食生活の見直しが必要です。健診などで尿蛋白や尿潜血、クレアチニン高値を放置していませんか？当科ではその他にも腎炎や膠原病、遺伝性疾患、透析治療など様々な疾患に対応しています。是非一度当科へ気軽にご相談下さい。

そらめくん



NPO法人 腎臓サポート協会





ネコ先生の『神楽坂通信』Vol.10



皆様お元気ですか。新型コロナウイルス感染はまだ収まっていませんが、ワクチン接種が進めば状況は良くなるでしょうから、今少し生活上の我慢を続ける時ではないかと思えます。

さて今回は「依存症」についてのお話です。依存症というと、麻薬中毒で人格が崩壊したような人のイメージが浮かぶかもしれませんが、しかし、これは誰でもちょっとしたことでおちいる可能性のある身近な問題なのです。

依存症とは本来、物質を長期に摂取することで、心や体、そして社会生活に問題が起きているにもかかわらず、摂取がやめられなくなっている状態のことです。ここでいう物質としては、たばこやアルコール、それに違法薬物などがあげられます。この物質依存症に加えて、最近では行動の問題として、ギャンブルやオンラインゲームの依存症が新たに病気として知られるようになりました。

消化器内科の分野で最も多いものはアルコール依存症です。飲酒過多による体への害として、代表的なものには肝障害、膵炎、食道がんなどがあります。これらの病気が悪くなることが頭ではわかっていても、お酒をスパッと止められる方はかなり少数です。

では、なぜ人は依存症になるのでしょうか。例えば、心に不安や孤独感があるとします。これをまぎらわせるために、飲酒の刺激がなされると、脳の中の報酬系と呼ばれる神経の道筋でドーパミンという物質が分泌され、気持ちよさを感じます。この報酬系の興奮状態が続くと、快感を得るために必要な刺激の量がだんだん増えてくるようになります（耐性）。さらに、お酒を飲まないと手が震える・イライラするといった禁断症状が起き、これらは体の依存の状態を表しています。また、心の依存は、お酒をどうしても飲みたくて我慢できないという強い欲求（渴望）です。こういった依存症の状態では、頭の中の神経系が飲酒刺激によってもたらされる快感に支配されていて、そこから抜け出すのが難しくなっているのです。

それでは、依存症の治療はどうすればいいのでしょうか。「お酒をやめなさい！」と叱ったり、違法薬物の使用に対する罰則を強化したりするだけでは効果はあがらないことが示されています。まず本人が依存症から抜け出そうという意志が重要です。その上で、薬物療法としてはお酒の効果を減らす薬が使えるようになりました。また、飲酒や薬物摂取には「引き金」があり、仲間からの誘いや暗い気持ちなどがこれに当たります。これらの引き金に対するうまい対処法を学ぶということが大事で、これは「認知行動療法」と呼ばれます。例えば、飲酒したいと思ったら運動をするなどの代替りの行動パターンを決めておくやり方です。さらに、同じような依存症の人が集まって体験を共有する「自助会」も大いに助けになります。

自分は大丈夫と思っていてもリスクがあるのが依存症です。私もオンラインゲームをすることはありますが、目が疲れたり睡眠不足になったりしないよう、やり過ぎには注意しています。皆様にもお好きな物や趣味がおありでしょうが、くれぐれもお体には注意してお過ごしてください。



院長補佐兼
消化器内科 部長
光井 洋



新 任 医 師 紹 介

2021年4月1日就任

副院長（兼神経内科 部長） 椎尾 康

院長補佐（兼消化器内科 部長） 光井 洋

院長補佐（兼整形外科 部長） 平岡 久忠

2021年4月1日新任



小児科 部長
たかせ まさと
高瀬 眞人

小野先生の後任の小児科部長です。3月まで日本医科大学多摩永山病院の小児科部長を勤めていました。専門は呼吸器で、喘息や慢性の咳が得意分野ですが、何でもご相談ください。



歯科口腔外科 部長
ふじはら ゆうこ
藤原 夕子

4月より歯科口腔外科に勤務となりました。患者さんに安心して受診していただけるよう心がけて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科 医長
かわだ まさひろ
川田 真宏

この度、腎臓内科に赴任致しました川田真宏と申します。腎臓疾患や透析治療などを主に担当させて頂き、丁寧な説明を心がけ、診療に従事して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。



麻酔科（緩和ケア） 医長
よこしま や え こ
横島 弥栄子

2021年4月より緩和ケア病棟に赴任いたしました。患者さんとご家族のお気持ちに寄り添って診療させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



内科 医師
あべ たくみ
阿部 巧

今年度から東京通信病院で内科専攻医として働かせていただく阿部巧です。患者さんが安心できる医療を提供できるよう努めていただきます。よろしくお願いいたします。



内科 医師
いしはら たつひこ
石原 達彦

4月より内科医として勤務しております。患者さんに信頼していただけるよう、丁寧な診療を行ってまいります。よろしくお願いいたします。



内科 医師
さとう ももか
佐藤 ももか

昨年まで初期研修でお世話になりました。4月から内科医として勤務させていただいております。患者さんのためにしっかりとした診療をしていく所存です。よろしくお願いいたします。



内科 医師
すずえ けいすけ
鈴江 圭祐

4月より内科医として勤務させていただいております。患者さんに寄り添った医療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



内科 医師
たかぎ のりこ
高木 典子

4月から内科医として赴任いたしました。診療では患者さんに分かりやすい説明を努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



内科 医師
なかた やすまさ
中田 康允

2021年4月より内科医として勤務している中田康允です。患者さん中心の全人的医療を実践できるよう、日々精進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



内分泌・代謝内科 医師
かねだ りょう
兼田 稜

4月からお世話になっております。半年間と短い期間ではありますが、日々精進する所存です。よろしくお願いいたします。



神経内科 医師
きむら ともひこ
木村 友彦

初めまして。本年度より赴任いたしました、木村友彦と申します。地域の皆様のお役に立てるよう精一杯励みますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



神経内科 医師
こばやし さとし
小林 敬

神経内科を専門としています。患者さんに寄り添った診療ができるよう努めて参りますので、相談事があれば何でもお伝えください。どうぞよろしくお願いいたします。





神経内科 医師
やまだ みなこ
山田 美菜子

4月に赴任いたしました山田と申します。患者さんにより良い医療、安心できる医療を提供できるように心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



眼科 医師
おがた なゆみ
緒方 南友美

4月より眼科に赴任いたしました。患者さんに寄り添った診療を心がけて日々精進して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



消化器内科 医師
ひきだ ゆうき
匹田 祐樹

研修時代から慣れ親しんだ場所に戻ってくることができて嬉しく思います。今後も引き続き一生懸命診療に当たります。よろしくお願い致します。



形成外科 医師
やまぐち はな
山口 華

4月より当院形成外科で診療させていただいております。患者さんのご期待に添えるよう、日々精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



外科 医師
うだ かずま
宇陀 数真

2021年4月より外科に赴任致しました。一人一人の患者さんとの関わりを大切に、安心して医療を受けていただけるよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



泌尿器科 医師
きのした あかね
木下 茜

4月より赴任いたしました。皆様の健康の一助となれますよう、丁寧な診療を心掛けて参ります。宜しくお願いいたします。



整形外科 医師
よねだ ともき
米田 智樹

半年間という短い期間ではありますが、患者さん一人一人に寄り添ったあたたかい医療を実践したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



耳鼻咽喉科 医師
すがや たかゆき
菅家 隆之

4月より耳鼻科に赴任いたしました。患者さんに「受診してよかった」と思っていただけの診療を目標に日々精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



眼科 医師
いがし のぞみ
五十嵐 希望

2021年4月より眼科に赴任いたしました。患者さんにわかりやすい説明をこころがけて診療にあたりたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

当院を退職しました

2021年3月31日退職

小野 正恵（院長補佐兼小児科 部長）

柳谷 謙一（歯科口腔外科 部長）

高野 秀樹（腎臓内科 主任医長）

林 猛志（内科 医師）

秋元 福太郎（内分泌・代謝内科 医師）

小林 有紗（内分泌・代謝内科 医師）

勝又 淳子（神経内科 医師）

佐藤 達哉（神経内科 医師）

堀 賢太郎（神経内科 医師）

宮野 涼至（神経内科 医師）

鈴木 祥代（消化器内科 医師）

加藤 祐介（腎臓内科 医師）

寸村 玲奈（腎臓内科 医師）

木庭 露葉（外科 医師）

遠藤 俊宏（整形外科 医師）

縣 千聖（眼科 医師）

長野 哲道（眼科 医師）

南原 優希奈（皮膚科 医師）

藤岡 菜月（形成外科 医師）

秋山 量紀（泌尿器科 医師）

安藤 喬明（耳鼻咽喉科 医師）



人間ドックのおすすめ

人間ドックセンター

1年に1回は健康チェック



男性 基本検査

身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科
--------------------------------------	--------------------------------	-----------

料金 45,100円
追加でオプション検査もごさいます。



女性 基本検査

身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科 婦人科(子宮頸がん検診) 外科系(乳房撮影+触診)
--------------------------------------	--------------------------------	---

料金 52,360円
追加でオプション検査もごさいます。

「CTでの検査 肺がんドック」！ 肺がんドックのおすすめ

近年、肺がんによる死亡率は、男性1位、女性2位となり、喫煙率は減少しているにも関わらず増加しています。

早期に発見されれば、5年生存率は80%以上ですが、実際は他の癌に比べて進行が早いため、進行癌で発見される例が大半です。「早期肺がん」の6割は胸部X線では発見困難であったとする最近の報告もあり、「毎年胸部X線による肺がん検診を受けているのに、見つかった時はすでに進行癌だった」「胸部CTで進行癌が見つかったのに胸部X線で異常が見つけれられない」というケースは決して稀ではありません。

肺がんドックは胸部X線では見つけにくい肺癌を見つけて出すことが可能です。当院では64列マルチスライスCTを使用し低線量で1.25mm間隔ですきまなく、1回の息止めで高速撮影をしています。加えて、喀痰細胞診により癌細胞の有無を調べます。

・ドックで発見された早期肺がんの画像

胸部X線では5mmの淡い結節影がありますが、画像を拡大しても肋骨に隠れており非常に見つけにくい状態です。同じ部位を胸部CTで撮影すると明らかに白く明瞭にがんが描出されています。

たばこを吸う人だけが肺がんになるとは思っていません



GE社製 64列マルチスライスCT

んか？肺がんの喫煙者の割合は男性の場合7割ですが、女性の場合たった2割とされています。次の項目に該当する方には無症状でも肺がんドックをお勧めします。

- ・喫煙者。特に喫煙指数（1日当たりの喫煙本数×喫煙年数）が600以上の方。
- ・50歳以上の方（男女を問わず）

料金：20,600円

詳しくは人間ドックセンターへお問合せください。

電話：03-5214-7055

* 郵政共済組合の方は、「がん検診の補助」制度の「肺がん」に該当しますので、補助の対象となります。



【X線】



【X線拡大画像】



【CT】

